

## ジュニア世代の陸上競技大会における迷惑撮影防止対策に関するご案内

中学生を含むジュニア世代のアスリートが安心して競技に集中できる環境を整えるため、日本陸上競技連盟（日本陸連）が定める「迷惑撮影防止に関するガイドライン」に基づいた競技会場での撮影ルールについてまとめております。保護者の皆様におかれましては、内容をご理解いただき、適切な大会運営へのご協力をお願い申し上げます。

### 【使用可能な撮影機器の制限】

競技会場内での撮影については、使用できる機器に制限があります。関係者以外の一般来場者および保護者の方は、以下のルールを遵守してください。

項目	規制内容
許可される機器	スマートフォン、タブレット端末のみ
禁止される機器	一眼レフカメラ、ビデオカメラ等
禁止される付属品	スマートフォン等に装着する望遠レンズ・ズームレンズ

※一眼レフや望遠機能を用いた撮影は、アスリートへの心理的負担を考慮し、ジュニア世代の大会では一切禁止されております。

### 【特定エリアにおける撮影禁止措置】

スマートフォンやタブレット端末を使用する場合であっても、以下のエリアや状況での撮影は固く禁じられております。

**100m スタート後方エリア：** デバイスの種類を問わず、一切の撮影が禁止されております。

**跳躍種目および女子短距離種目：** これらの種目が行われる付近では、審判やスタッフによる会場巡回を強化しております。不適切な撮影と判断された場合は、お声がけをさせていただくことがあります。

### 【日本陸連による統一的な方針】

これらの撮影規制は、本大会限りの個別のルールではなく、**日本陸連が主催・管轄する大会において共通して適用される基本的な方針**です。

アスリートが競技に真摯に向き合い、最高のパフォーマンスを発揮できるよう、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。